

Career Up Stage

進路決定に向けて知ってほしいことを載せます。将来の職業や高校進学、進路決定のステップをよく確認してください。

進路決定のステップ

はじめに

広い意味で、進路決定とは何か。それは、「一人の人間が一生をどう送るのか」ということです。人間の生き方には、生活設計や人生観の確立があげられます。父母から見れば、いい人生・幸せな生活を送ってほしい。では、幸せな人生とはどういう状態か。その中身が問題になります。例えば、経済面、地位、名誉、人間関係、財産、苦楽、家族、仕事などがあります。

狭い意味での進路決定には、「なぜ、高校に進学するのか」それは、「なぜ、勉強をするのか」につながっていきます。本来勉強することは、人間の可能性を生かすこと、人間の文化を高めることです。学習によって人類は人間になったのです。

しかし、現実には自分の目標を実現させることであります。

興味と適性が一致

中学生は、一般的には思春期の真っ只中で、肉体的にも精神的にも一生の中でもっとも変化が激しく、逆に成長も大きいです。そして、このような時期に、人生最大のもっとも困難な選択に迫られています。(第一関門の高校進学)の進路決定)

進路決定の支援としては、個人的には個性・特性の発見をしてやることです。どんな人間、どんな個性、どんな能

力、どんな適性、どんな職業、これらを自分で発見するには、中学生はあまりにも幼すぎます。

まわりの大人が発見してあげることが大事です。そして、**自分の興味と適性が一致した時、進路の決定が満足となります。**

職業について

(1) 職業の種類や適性について

- 一般事務系 ○技術事務系
- 企画・制作系 ○文科系専門職
- 対人折衝系 ○販売系
- 奉仕系 ○技能系
- 技能芸術系 ○機械技術系
- 理科系専門職

(2) 一つの職業に対して**興味**がある

- 芸術領域が高い ○文学領域が高い
- 書記領域が高い ○機械領域が高い
- 説得領域が高い ○奉仕領域が高い
- 戸外領域が高い
- 科学領域が高い

(3) 一つの職業に対して**適応態度**がある

- 規律性が高い ○慎重性が高い
- 感情安定性が高い ○活動性が高い
- 対人的積極性が高い
- 達成意欲が高い ○自立性が高い
- 同調性が高い

(4) 一つの職業に対して**学習分野**が適合している

- 文化・文学系 ○社会・実務系
- 自然科学系 ○工業系 ○農業系
- 医療系 ○家政・衛生系
- 教育文科・福祉系 ○教育理科系
- 技能・芸術系 ○体育系

高校進学について

○良い高校に進学させたい
→すべての親の願い

○良い高校に進学したい
→すべての子どもの願い

では、良い高校とは何か。親と子どもの価値判断で違いが生じます。

○子どもの夢を育てる高校、子どもの夢を伸ばす高校が良い高校です。

そこには、優劣はなく、違いがあるだけです。その違いをどう自分の将来に生かすのか。

○高校選択の機会(中学3年生)がそれを決定づけます。

○自分にとって将来どんな選択ができるのか、を考えるのが大切。そこで注意しないといけないことが、親の高校格差の偏見が、子どもの高校選択の目を曇らせます。

○なぜ、高校に行くのか、入った後どう自分を生かせるのか、を問いつけること。

○「ここしか行けない」では子どもの希望は生まれません。

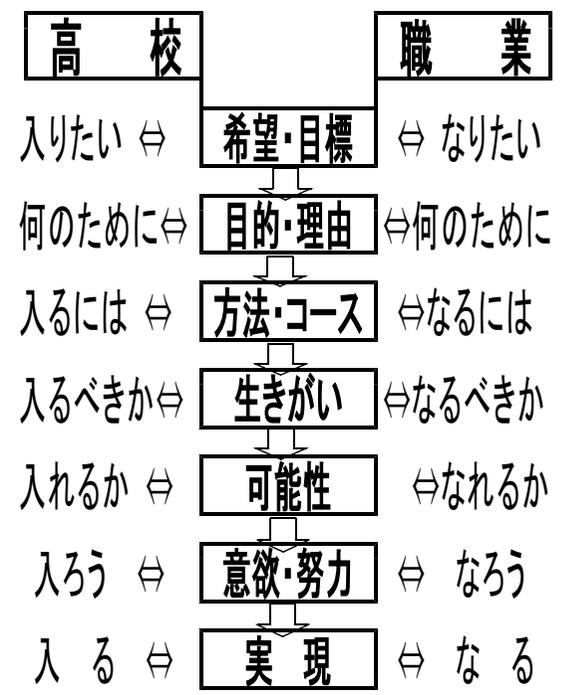
○中学校とは違った職業高校で花開く子どももいます。

※前記にあげたことを忘れて、ただ有名高校→有名大学→一流企業という偏見では、全ての中学生は救われません。

進路決定のステップ

進路決定にいたるまでには、**希望・目標～実現**までいくつかのステップがあります。

そこで、高校と職業の選択について各ステップでの自分の意思確認を行い、進路決定を明確にすることが大事です。



合唱コンクール(11月6日)